

吉野ヶ里町立学校施設等の空調設備更新・新設及びLED照明更新に関する

サウンディング型市場調査 結果概要

1. 目的

本町では、町立学校施設等の空調設備更新・新設及びLED照明更新の検討にあたり、民間事業者の技術的知見や事業手法に関する意見を幅広く把握し、今後の事業化検討に活用することを目的として、サウンディング型市場調査を実施しました。

2. 参加事業者数

7者

3. 実施方法

・個別対話形式（意見書や参考資料の提出による補足）により実施

4. 主な意見の概要

<p>■事業方式について</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の特性や整備内容に応じて、従来方式(設計・施工を個別発注方式)、DB方式(設計・施工一括発注方式)、ESCO方式(省エネルギー効果の保証を含む契約形態)、リース方式(民間事業者が設計・施工し、設備を所有したまま維持管理を行う方式)等を適正に組み合わせる必要があるとの意見が多く見られました。・特に、LED照明についてはESCO方式やリース方式の活用が有効との意見がある一方、空調設備については従来方式またはDB方式が現実的であるとする意見が多く見られました。 <p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・設備特性に応じた方式の使い分けに関する意見が見られました。
<p>■空調設備について</p> <ul style="list-style-type: none">・空調方式としては、電気方式(EHP)、ガス方式(GHP)、輻射式空調など多様な提案があり、施設用途や規模に応じた最適な方式の選定が重要との意見がありました。・また、既存設備の活用や工期短縮、コスト削減に向けた工夫の必要性が指摘されました。 <p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・空調設備については、施設ごとの最適化に関する意見が見られました。
<p>■LED照明について</p> <ul style="list-style-type: none">・LED照明更新については、一括更新による効率化や省エネルギー効果の確保、工期短縮の観点から、ESCO方式やリース方式の活用が有効であるとの意見がありました。 <p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・LEDについては、効率的な事業手法の適用に関する意見が見られました。

<p>■電力・エネルギーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の更新・新設に伴い、電力使用量や最大需要電力（デマンド）の増加が懸念されるとの意見が複数ありました。そのため、エネルギーマネジメントやデマンド制御の導入、省エネルギー性能の高い機器の採用等により、電力負荷の適正管理が必要であるとの意見がありました。
<p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力対策については、設備導入と併せた運用面の検討に関する意見が見られました。
<p>■BCP（事業継続計画）・避難所機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場（体育館）への空調設備新設については、災害時の避難所としての利用を踏まえた検討が重要であり、停電時対応や快適性確保を含めた設備構成の検討が必要であるとの意見がありました。
<p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館空調については、防災機能の視点を踏まえた検討に関する意見が見られました。
<p>■事業実施にあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工期間中の学校運営との調整のほか、近年の物価上昇、人件費の増加、機器納期の長期化等への対応が必要であるとの意見がありました。 ・また、事業検討にあたっては、既存設備の状況把握や電力使用状況の整理など、事前条件の整理が重要であるとの指摘がありました。
<p>【整理コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化にあたっては、事前準備と条件整理に関する意見が見られました。

5. 留意事項

本結果概要は、参加事業者の独自の技術及びノウハウに配慮し、個別の提案内容が特定されないよう、意見の共通点や傾向を整理したものです。

6. 今後の予定

本サウンディング結果を踏まえ、事業手法や整備内容について、施設の特性や条件を踏まえた検討を進めてまいります。